

<別紙1>

第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：キッズラディ	種別：認可保育所
代表者氏名：園長 稲田大介	定員（利用人数）：72（利用者57名） 名
所在地：〒222-0032 神奈川県横浜市港北区大豆戸町639-2 イマニシビル	
TEL：045-439-5025	ホームページ： http://www.kyokushin-mm.jp/50index
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2021年4月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社極真会館メディカルマネジメント	
職員数	常勤職員：12名 非常勤職員：5名
専門職員	園長：1名 主任：1名
	保育士：11名 保育補助：1名
	調理師：2名 管理栄養士：1名
施設・設備の概要	保育室：1（棚でクラス分け） トイレ：2
	調理室：1 事務室：1
	屋内：スタジオ・空手道場 屋外：屋上テラス

③ 理念・基本方針

保育理念

キッズラディは、子どもたち一人一人の輝く未来を手作りする為に、保育所保育指針に基づき、かつ児童福祉法にそった乳幼児の保育（教育）を「智慧」「徳育」「体育」「食育」を重視し行うことを目的とし、また、子どもの人権や主体性を尊重し一人一人と接すると共に、子どもたちが保育園で生活を送る上で、ご家庭との連携はもっとも大切なことと考え、日頃から子どもの様子を伝え合い、話し合いながら、保護者の方とともに成長を見守っていきます。

運営方針

- 1.当園は、利用する子どもの最善の利益を考慮し、保育所保育指針とキッズラディの保育理念・保育指針に則り、子どもの成長を積極的に増進することに最もふさわしい生活の場であるよう努めます。
- 2.当園は、子どもの最善の利益の為に、保育に関する専門性を有する職員が、子どもの状況や発達過程を踏まえ、養護及び教育を一体的に提供すると共に、ご家庭との連携を大切にします。
- 3.当園は、利用する子どもを保育するとともに、利用する子どもの保護者に対する支援及び地域の子育て家庭に対する支援等を行います。

園目標

- ①豊かな感性と表現力を持ち、元気でたくましい子ども
- ②人の話を良く聞き、自分で考えることができる子ども

- ③他人の気持ちに気づき、思いやりを持って接する事のできる子ども
- ③ 自分でできる喜び、明るくのびのびとした子ども
- ④ 自然の恵みに感謝し、自然を敬うと共に食を楽しむことができる子ども

④施設・事業所の特徴的な取組

本園はワンフロア構造の保育園で、壁ではなく棚を用いてクラス分けを行っている点が大きな特徴です。これにより、子ども同士や職員間の様子が把握しやすく、年齢や発達段階を超えた自然な関わりも生まれています。また、家具や荷物を移動することで空間を柔軟に使うことができ、行事や活動内容に応じて広い一室として活用できるなど、環境構成の自由度が高いです。さらに、3階にはスタジオや道場といった保育室以外の室内施設を備え、表現活動や運動遊びなど多様な体験を可能にしています。4階には屋上テラスがあり、夏には戸外でプールに入ったりと都市部にいながらも戸外に近い環境での活動や気分転換ができる点も魅力です。

事業所としては、年間を通じて行事が豊富に計画しており、子どもたちが目標をもって取り組み、達成感を味わえる機会を大切にしています。3歳児～5歳児では、ダンス・英語・空手・運動といったカリキュラム活動を取り入れ、幼稚園的な要素も含めながら、集団活動への参加意欲や主体性を育てています。また、クッキングやプランター栽培などの食育活動を通して、食への関心や感謝の気持ちを育て、生活と学びが結びついた保育を実践しています。キッズラディは、キッズラディの園名の由来であるラディエンス（輝く未来）の名の如く、子どもたち一人ひとりが最も良く生き、望ましい未来を作り出す力の基礎を培うことができるように職員一人ひとりが環境の一部として関わり、子どもたちの輝く未来のために丁寧に子どもたちの今を手作りすることを目的としています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和7年4月22日（契約日）～ 令和8年4月1日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0回（ 年度）

⑥総評

◇特長や今後期待される点

1)職員が、保育は「人生の土台づくり」であるという意識を共有しています
小学校就学をゴールとするのではなく、子どもたちが将来大人になって社会で生きていくことを見据えた「人生の土台づくり」を目的としている点が大きな特長です。0歳児～2歳児期には、子ども一人ひとりの発達段階を尊重し、無理なく基本的な生活習慣を丁寧に身につけることを重視しています。3歳児以上には、遊びや生活の中にカリキュラム活動を段階的に取り入れ、集団生活へと自然につなげています。保育観を職員間で共有して、子どもの育ちを支える体制を整えています。

2)園内外の施設を活用できる環境を整えています
保育室だけでなく、スタジオや空手道場といった複数の空間を活用できる環境が整っており、日常的に多様な身体活動を取り入れています。雨天時や猛暑など屋外活動が難しい場合でも、室内で安全に体を動かすことができ、子どもの発達や体力づくりにつなげています。また、園の周辺には複数の公園があり、自然に恵まれた環境の中で戸外活動を行える点も大きな特長です。身近な自然に触れながら遊ぶ経験を通して、子どもは季節の変化を感じ、五感を豊かに育てています。園内外の環境をバランスよく活用することで、子どもの健やかな成長を支えています。

3)職員が働きやすい職場環境を整えています

園では、子どもたちの社会体験を育むために多様な行事や体験の機会を設けています。職員たちの思い入れも深く、資料作成や行事企画には、保育活動の中で行うのではなく、事務時間を設けて集中的に取り組む体制を確立しています。この体制により、園全体で長時間労働の削減、是正に向けた働き方を実践しています。

4)中長期ビジョンに向けて連続性ある事業計画、報告の作成が期待されます
「横浜保育室」から認可保育園に移行して来年で6年目を迎えようとしています。園の理念や園目標に向けた中長期ビジョン、事業計画、報告、保育所の自己評価を連携した仕組みを整えることが期待されます。認可保育園として目指す方向性や具体的な計画を中長期ビジョンとして立案し、年度ごとの課題改善に向けて事業計画・報告に連動した仕組み（PDCAサイクル）を確立するとともに、各プロセスには職員参画で全員が同じ意識のもとで取り組むことが望まれます。

5)認可保育園としてのマニュアルの整備が期待されます
マニュアル類は園の前身である横浜保育室のマニュアルを活用しているため、現在は、すべてのマニュアルの刷新を検討しています。特に標準的な保育実践の手順として保育マニュアルの整備とともに、マニュアルの理解浸透と見直しを職員共に行うことが望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

当園は、横浜保育室として11年間の運営を経て認可移行を行い、「キッズラディ」として5年が経過しようとしています。この度、初めて第三者評価を受審いたしました。

この5年間を振り返ると、日々の保育や保護者対応、園運営に向き合い続ける中で、気がつけば目の前のことに一生懸命になるあまり、先を見通した計画や、園全体としての方向性を十分に示しきれていなかったのではないかと、今回の受審を通してあらためて感じております。

もちろん、その日その日を大切に積み重ねてきた時間は、園にとってかけがえのないものです。しかし同時に、「この園をこれからどのようにしていきたいのか」「職員とどのような思いを共有していくのか」といった点について、より明確にし、発信していく必要があったとも感じています。

今回の第三者評価は、そうした自分自身、そして園としての在り方を見つめ直す大きなきっかけとなりました。課題は決して少なくはありませんが、不思議と今は前を向いた気持ちでおります。それは、これまで積み重ねてきたことを土台にしながら、これから何に取り組むべきかがはっきりと見えてきたからです。

これまで当園では、中長期的な計画や事業目標について、主に内部での共有に留まっていた面がありました。その結果、職員間での方向性の共有や連携の強化において、改善の余地があったと認識しております。今後は、園としての確固たるビジョンを明確にし、それを職員一人ひとりと共有しながら、同じ方向を向いて歩んでいける組織づくりを進めてまいります。また、中長期的な視点を持った計画的な運営と組織づくり、人材育成に取り組み、これまで以上に力を入れていきたいと考えております。

園の運営は、決して一人でできるものではありません。主任・リーダーをはじめ、職員一人ひとりの力があってこそ成り立つものです。これからは、互いに支え合いながら、より良い保育を実現できるチームでありたいと強く思っています。

今後は、少子化が進む中においても、地域や保護者の皆様に選ばれ、子どもたちにとって安心して過ごせる場所であり続けること、そして卒園後も心の拠り所となる園

であり続けることを目指し、新たな一歩を踏み出してまいります。

この度の第三者評価受審にあたり、保護者の皆様にはアンケートへのご協力をいただき、誠にありがとうございました。いただいたご意見につきましては真摯に受け止め、今後の園運営に活かしてまいります。これまで以上に安心と信頼を感じていただける園づくりに努めてまいります。

また、資料作成や受審準備にあたり尽力してくれた職員一同にも、心より感謝申し上げます。職員一人ひとりの力があってこそ園の運営が成り立っており、今後も共により良い園づくりを進めていきたいと考えております。

そして何より、日々笑顔で過ごしている子どもたち一人ひとりの存在が、当園の原点であり、存在意義です。子どもたちの健やかな成長と輝く毎日を支えられるよう、これからも誠実に保育に取り組んでまいります。 今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

園長 稲田大介

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり